Tri-Force Okayama Challenge 2026 試合概要

1.白帯ワンマッチ

1.1. 試合ルール

・参加可能者：ジュブナイル以上の年齢で白帯のトライフォース岡山会員
・試合ルールは IBJJF アダルト白帯ルールをベースとする。
・試合時間は 5 分とする。
・判定におけるアドバンテージはなしとする。同点の場合はレフェリー判定にて勝敗を決する。
・安全性を考慮して、選手の経験によっては「初級ルール」を適用する。
※個々の試合に「初級ルール」を適用するかどうかは実行委員会が決定する。
・「初級ルール」は IBJJF 白帯ルールをベースに以下の細則を加える。
-審判による見込み一本をありとする。
-スタンド状態からの一切の飛びつき技を禁止とする。
-クローズドガードで片方が相手を完全にマットから持ち上げた場合(スラムの懸念が生じた場合)には、
一度試合を停止し、正座ベースのクローズドガードでマット中央にて再開する。
-外掛け（二―リーピング）の状態が発生しそうになった場合、
一度試合を停止し、口頭注意の後にその直前の状態でマット中央にて再開する。

1.2.マッチメイク

・試合相手は経験、年齢、体重を考慮して実行委員会が決定する。
・基本的に各人 1 試合の出場とするが、本人の同意のもとに 2 試合以上の出場もあり得る。
・試合直前、もしくは当日にケガなどで相手がいないなどの場合には、
出場者の中から急遽カテゴリーが近い相手とマッチメイクされる場合があり得る。

1.3.賞

・以下の賞を出すことを想定している。
-最速一本賞：最速で一本勝ちした選手に贈られる。
-ベストバウト賞：最も熱く見ごたえのある試合をした選手 2 名に贈られる。
「最も熱く見ごたえのある試合」は宮本先生が選定する。

2.青帯団体戦

2.1.試合ルール

・参加可能者：ジュブナイル以上の年齢で青帯のトライフォース岡山会員
・試合ルールには「TFOC 団体戦特別ルール」を適用する。
・試合時間は 4 分とする。
ただし、選手間に 10kg 以上の体重差がある場合、軽い側の選手が望めば、試合時間は 1 分間短縮される。
・各試合の勝敗の決定はサブミッションのみとする。
・大将戦が終った時点でチームポイントに差がない場合、大将戦の結果を優先してチームの勝敗を決する。
・それでも勝敗が決しない場合、チーム代表を 1 人選出し、代表戦を行う。
・代表戦は IBJJF アダルト青帯ルールを適用する。ただし、試合時間については上記特別ルールを適用する。
・代表戦の判定におけるアドバンテージはなしとする。同点の場合はレフェリー判定にて勝敗を決する。
・その他、反則行為など上記以外の部分については IBJJF アダルト青帯ルールを適用する。

2.2.チーム

・1 チーム 3 名もしくは 5 名とする。参加人数により調整する。
・エントリーはチーム単位ではなく、個人単位とする。
・チーム分けは実行委員会立ち合いのもと、厳正なるくじ引きによって決定する。
・試合はトーナメント方式で行う。

2.3.賞

・以下の賞を出すことを想定している。
-優勝チーム賞：優勝したチームメンバー全員に贈られる。